【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公開番号】特開2005-261004(P2005-261004A)
【公開日】平成17年9月22日(2005.9.22)
【年通号数】公開・登録公報2005-037
【出願番号】特願2004-65135(P2004-65135)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｂ　13/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｂ　13/06　　Ｅ
Ｈ０２Ｂ　13/04　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成17年11月15日(2005.11.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遮断器ユニットを挟んで一方の側に母線ユニットを、他方の側に線路ユニットを有し、更に主回路の電流計測のための第一及び第二変流器ユニットを備えているガス絶縁開閉装置において、
前記遮断器ユニットの一方の側面に、前記第一及び第二変流器ユニットの両方を配置したことを特徴とするガス絶縁開閉装置。
【請求項２】
前記第一及び第二変流器ユニットは、前記遮断器ユニットと前記線路ユニットの間で、かつ、上下に配置されていることを特徴とする請求項１記載のガス絶縁開閉装置。
【請求項３】
前記第一及び第二変流器ユニットは、いずれも変流器が横向きに設置されて構成されていることを特徴とする請求項１又は２記載のガス絶縁開閉装置。
【請求項４】
前記第一及び第二変流器ユニットは、変流器用導体が、変流器コイル内を水平方向に貫通して構成されていることを特徴とする請求項３記載のガス絶縁開閉装置。
【請求項５】
前記第一変流器ユニットの変流器用導体が、前記変流器コイル内を貫通した後に折り返して該変流器コイルの外側を通って同じ方向に戻るように構成されていることを特徴とする請求項４記載のガス絶縁開閉装置。
【請求項６】
前記遮断器ユニットの上側に、前記母線ユニットと前記第一変流器ユニットを接続する導体が配置されていることを特徴とする請求項２記載のガス絶縁開閉装置。
【請求項７】
前記母線ユニットが三相一括型構造を有し、前記第一変流器ユニット及び前記第二変流器ユニットが、いずれも三相分の変流器の外周円が相互に近接するような三角形配置となっていることを特徴とする請求項１記載のガス絶縁開閉装置。
【請求項８】
前記第一変流器ユニットは、三相分の変流器の導体が、それぞれユニット内の第一の端

部から変流器を構成するコイルの中心を貫通した後、第二の端部において折り返し、変流器外部の空間を通って前記第一の端部へ向かう経路を有することを特徴とする請求項７記載のガス絶縁開閉装置。

【請求項９】

前記第一変流器ユニットは、第一，第二，第三の変流器をそれぞれの外周が近接するような三角形配置となっており、前記第一の変流器内部を貫通する第一の導体は、前記母線ユニットから前記第一の変流器内部を貫通した後、折り返して前記第二，第三の変流器が近接する外周側部から前記遮断器ユニットへ接続され、前記第二の変流器内部を貫通する第二の導体は、前記母線ユニットから前記第一，第二の変流器が近接する外周側部を通した後、折り返して前記第二の変流器内部を貫通して前記遮断器ユニットに接続され、前記第三の変流器を貫通する第三の導体は、前記母線ユニットから前記第一，第三の変流器が近接する外周側部を通した後、折り返して前記第三の変流器内部を貫通して前記遮断器ユニットに接続されることを特徴とする請求項７記載のガス絶縁開閉装置。

【請求項１０】

上方に配置される前記母線ユニットと前記第一の変流器ユニットの中心位置、及び下方に配置される前記母線ユニットと前記第二の変流器ユニットの中心位置が、いずれも略一致して配置されていることを特徴とする請求項２記載のガス絶縁開閉装置。

【請求項１１】

２つの母線ユニットを結ぶ線路に備えられ、遮断器ユニットと一方の前記母線ユニットとの間に第一変流器ユニットを、前記遮断器ユニットと他方の前記母線ユニットとの間に第二変流器ユニットを配置してなるガス絶縁開閉装置において、

前記第一及び第二変流器ユニットの両方が、前記遮断器ユニットの一方の側に配置されていることを特徴とするガス絶縁開閉装置。

【請求項１２】

２つの前記母線ユニットが前記遮断器ユニットの同一側面に併置され、この２つの前記母線ユニットと前記遮断器ユニットの間に、前記第一及び第二変流器ユニットが配置されていることを特徴とする請求項１１記載のガス絶縁開閉装置。

【請求項１３】

前記第一及び第二変流器ユニットは、いずれも変流器が横向きに設置されて構成されていることを特徴とする請求項１１又は１２記載のガス絶縁開閉装置。

【請求項１４】

一方の前記母線ユニットと前記第一の変流器ユニットの中心位置、及び他方の前記母線ユニットと前記第二の変流器ユニットの中心位置が、いずれも略一致して配置されていることを特徴とする請求項１１記載のガス絶縁開閉装置。

【請求項１５】

前記母線ユニットが三相一括型構造を有し、前記第一変流器ユニット及び前記第二変流器ユニットが、いずれも三相分の変流器の外円周が相互に近接するような三角形配置となっていることを特徴とする請求項１１記載のガス絶縁開閉装置。